

「運動器部会」が設立されました

死廃の最多は運動器病

成乳牛の死亡および廃用（死廃）の原因となる病気のうち、最も多いのは何だと思えますか？

実は、股関節脱臼や関節炎や筋断裂などを含む運動器病なのですが、予想通りだったでしょうか。例えば、平成25年度の釧路地区NOSA Iにおける成乳牛の死廃頭数は6,388頭でしたが、運動器病が原因だったのは1,483頭（23・2%）と最多でした。つまり、死廃となった成牛のおよそ4〜5頭に1頭は運動器病だったということです。

損害の大きい運動器病

一方、平成25年度に釧路地区NOSA Iで診療した成乳牛ののべ頭数では、乳房炎などの泌乳器病が全体の43・3%と最も多く、生殖器病が

23・7%、運動器病が10・2%と続いています。運動器病の大半を占める蹄病が発生した場合の1頭あたり経済的損失は、治療費や乳量減少などにより、およそ5万円以上と見積もられているようです。

このように運動器病は、病気全体から見ると発生する割合はそれほど高くないものの、発生による損失は決して無視できず、死廃の原因としては最も多い病気です。この傾向は平成25年度または釧路地区に限られたものではなく、全道的に見ても毎年ほぼ同様です。

運動器部会設立

そこでこのたび、運動器病の発生や死廃による損失を減らすことを主な目的とした「運動器部会」を設立し、10月23日に第1回の部会を開催しました。この部会は、釧路地区N

OSA I内の部会としては、乳房炎、繁殖、四変、子牛に続く第5番目の部会となります。本部会では、生産現場で問題となる運動器病に関する調査と対策を中心に、外科学に関する活動をしていく予定です。具体的には、死廃の原因となる股関節脱臼に関して、発生が多い農場と少ない農場の飼養管理状態などを比較し予防対策を提示したいと考えています。また、蹄病の中でも群単位での決定的な対策方法がわかっていない趾皮膚炎（イチゴ病）に関して調査を進める予定です。

本部会は獣医師のための勉強会ではなく、組合員の方々の利益につながる活動を行います。したがって、何らかの対策を行う際には組合員の皆様の御理解と御協力が必要不可欠です。よろしくお願致します。

標茶家畜診療所 西川 晃豊

